No.	履修期	発表者	タイトル
1	Ρl	岡崎昌史	地域に根ざした科学プロデューサーの実践
2	Ρl	加賀谷昭	科学プロデューサ活動報告
3	P2	蜷川由彦	取材・原稿制作 チラシ作成 PR 活動(オフィス トライサンズ)
4	P2	和田重雄	成果報告
5	РЗ	Ketty-K	『 Life:命を考える ~ Ketty-K 的科学生活 ~ 』
6	РЗ	中川律子	さかさパンダサイエンスプロダクション
7	РЗ	保谷彰彦	企画と執筆のたんぽぽ工房 ~ここ2年間の活動報告~
8	P4	當麻景一	星空案内人養成講座(戸田市民大学認定講座)
9	P4	岸篤宏	地域の科学館プラネタリウム職員による 科学プロデュース的な活動と日々
10	P4	泉田賢一	みけねこサイエンスプロジェクトのあゆみ
11	P5	匠あさみ	地域サイエンス・カフェの試み
12	P5	中屋哲夫	東屋こよみ工房
13	P7	山内銘宮子	Astro Ninja Projects
14	P8	山﨑友紀	子どもも 大人も 科学に わくわく!
15	P8	望月銀子	科学コミュニケーションへの取組み
16	C1	広橋 勝	作品紹介
17	C1	三浦 昭	宇宙科学データの映像化 一見えないものが見えるまで一



9時30分 受付開始 10時 開会

第1部 科学プロデューサ

10時 10分 基調講演

『未来を拓く科学プロデューサ

~ Think the Earth プロジェクトプロデューサーとして』

├田壮一 (ThinkTheEarth プロジェクトプロデューサ、(株) スペースポート取締役社長)

11時00分 科学プロデューサ養成コース成果概要

科学文化形成ユニット・保谷彰彦

11時20分 科学プロデューサ修了生による活動発表

12時10分~13時30分 休憩

第2部 科学映像クリエータ

13時30分 基調講演

『未来を拓く科学映像クリエータ

~ HAYABUSA BACK TO THE EARTH 監督として 『

上坂浩光 (HAYABUSA-BACK TO THE EARTH-監督、(有)ライブ代表取締役)

科学映像クリエータ養成コース成果概要 14時20分

科学文化形成ユニット・三上真世

14時40分 科学映像クリエータ修了生による活動発表

15時20分~15時40分 休憩

第3部 まとめ

15時40分 パネルディスカッション

~17時00分

パネラー:

上田壮一 (ThinkTheEarth プロジェクトプロデューサ、(株)スペースポート取締役社長)

上坂浩光 (HAYABUSA-BACK TO THE EARTH-監督、(有) ライブ代表取締役)

永山國昭 (自然科学研究機構生理学研究所特任教授)

長山好夫(自然科学研究機構核融合科学研究所教授)

室山哲也 (日本放送協会解説主幹)

観山正見 (国立天文台長)

萩原幸夫 (まちづくり三鷹常務取締役経営事業部長、科学成果普及機構代表社員)

その他

13時00分~13時30分 17時00分~17時30分

ポスターセッション

7時30分~18時30分 科学映像クリエータ修了生作品上映

【 懇親会** (18 時 30 分~ 20 時 30 分) 】 **懇親会には参加申込(参加費 2,000 円) が必要です。

講演者 紹介

基調講演 講演者プロフィール

上田壮一

株式会社スペースポート取締役社長/クリエイティブ・ディレクター Think the Earth プロジェクト・プロデューサー



1965年生まれ。東京大学大学院機械工学修士課程修了。

1996年広告代理店を退社後、フリーランスとして映像・インターネットなど様々なジャンルの企画とディ レクションに携わる。2000年にソーシャル・クリエイティブの拠点として株式会社スペースポート設立。 2001年に非営利団体「Think the Earth プロジェクト」を設立し、以来コミュニケーションを通じて環境 や社会について考え、学び、行動する「きっかけづくり」を続けている。Think the Earth プロジェクトで 手がけた仕事として、地球時計 wn-1 (グッドデザイン賞) や携帯アプリ「live earth」、写真集『百年の愚行』、 書籍『1 秒の世界』、『みずものがたり』、プラネタリウム映像「いきものがたり」など。 2011 年に 10 周年イベント『EARTHLING 2011 ~地球人大演説会』を開催予定。

上坂浩光

有限会社ライブ代表取締役 監督・CG アーティスト 「HAYABUSA BACK TO THE EARTH」監督・製作者

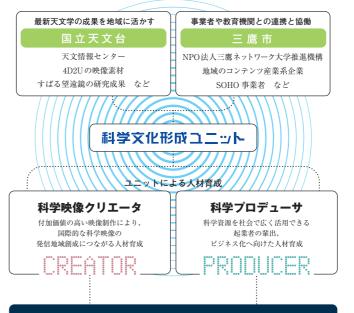


1960年生まれ。イラストレーター、アニメーターなど手書きの映像制作を経歴の出発点とするが、CG 黎 明期のころから、独自に 3D ソフトウェアーを開発し、CG 映像制作を行ってきた。1997 年有限会社ライ ブを設立。CM、ゲーム映像、大型映像、企業 VP など、その制作分野は多岐に渡る。少年時代からの夢であっ たドーム付天文台を2005年に那須に建設、リモート天文台を持つアマチュア天体写真家としても活躍、 撮影した天体写真が天文ガイド、星ナビで入選・受賞。

「HAYABUSA BACK TO THE EARTH」監督として、イミロアフィルムフェスティバル Audience Choice Award、第52回科学技術映像祭「文部科学大臣賞」受賞。

現在は大型映像第2作の構想から制作にとりかかろうとしている。

国立天文台は三鷹市と連携して、平成19年度に文部科学省科学技術振興調整費<地域再生人材創出拠点の形成>に採択され、 「宇宙映像利用による科学文化形成ユニット」を実施してきました。今年度で最終年度の5年目を迎えるにあたり、これまでの プロジェクト成果を振り返り、来年度以降に科学映像クリエータおよび科学プロデューサの人材育成の継続・発展性をニーズや 社会貢献度を含めて議論する。あわせて、養成人材の将来像を見据え、国立天文台・三鷹市など本プロジェクトに係わる組織等 と修了生との協働の可能性について考えます。



科学文化形成ユニット は、国立天文台天文情報 センターが中心となり NPO 法人三鷹ネットワー ク大学推進機構や大学 企業等と連携しつつ運営 されています。国立天文 台が保有する宇宙映像コ ンテンツを基盤とし、次 世代映像コンテンツ産業 を担う人材、科学資源を 利活用して地域ニーズに 貢献しうるコミュニテ ィ・ビジネス人材を育成 することを通じて、「立 体映像と科学文化の街・ 三鷹」を目標に「地域の 再生」を目指します。



